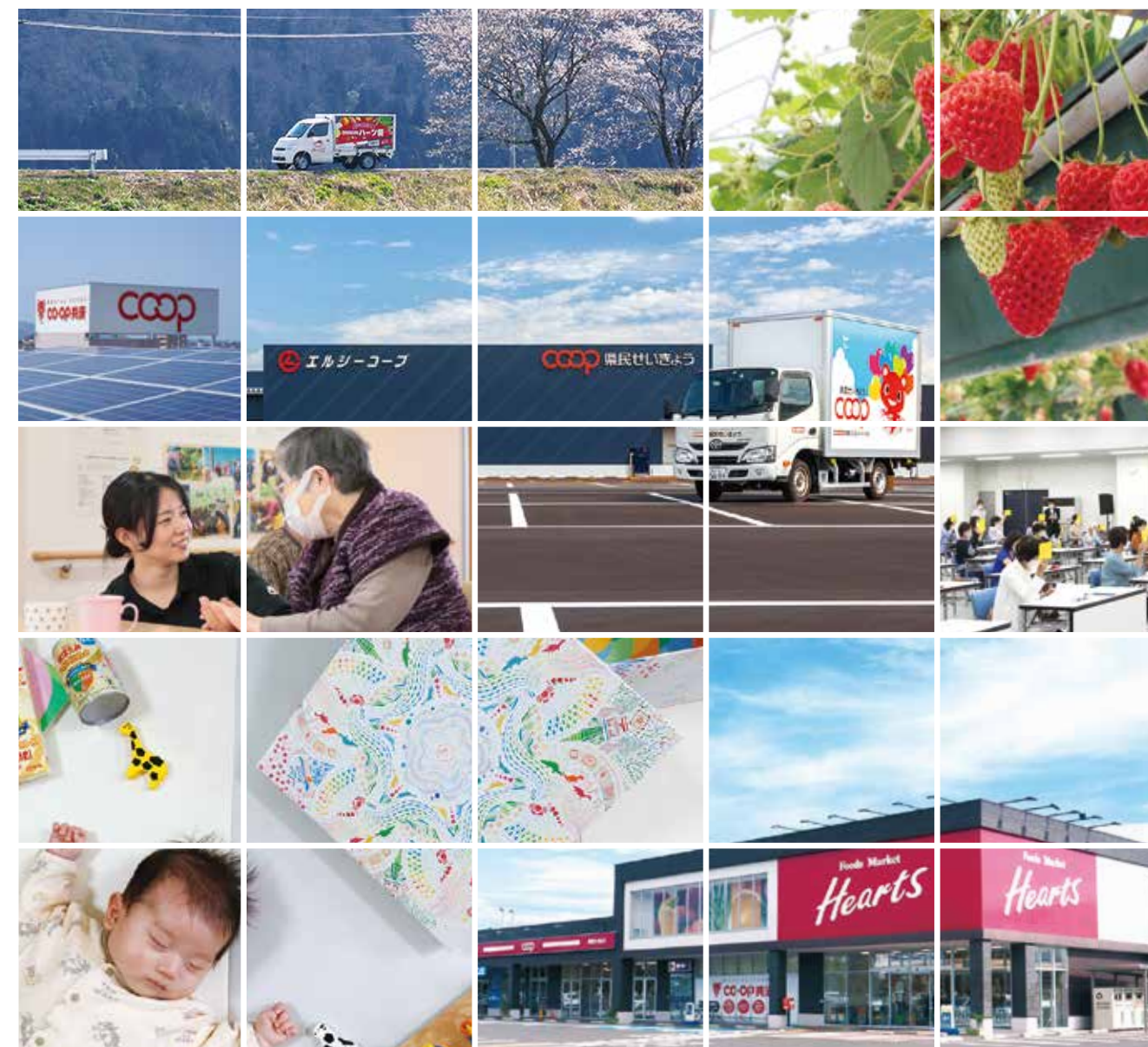




2022年度 新入協職員



福井県民生活協同組合 サステナビリティ レポート 2022

No one will be left behind.

県民せいきよう
コールセンター

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

0120-016-165

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時
※受付時間外は、音声ガイドにて、お問い合わせの受付と、緊急時の連絡先をご案内しています。

●ホームページ



●県民せいきよう
SNS一覧



県民せいきようの
SDGsの取り組みを
紹介しています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。



ごあいさつ



理事長
松宮 幹雄

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、ライフスタイルや働き方など、急激な社会変化への対応を余儀なくされた一年となりました。第10次中期計画の1年目として、「2030年ビジョン実現に向けた新たな挑戦」をスローガンに供給事業では、COOP要冷センターの稼働、COOP宅配アプリのリリースによる利便性向上、ドライブスルー型の宅配ステーションへの改装、スローショッピングの取り組み、ハーツアプリの機能追加、くらしのサポートセンターの立ち上げ、食事宅配の配送曜日や配送エリアの拡大、ハーツのおつかいさん（買物代行）の刷新など買物支援サービスの充実、福祉事業では、越前市からの地域包括支援センターの指定、子育て支援での0歳児の一時預かりの開始、共済事業でのジュニアコースの30歳までの延長などを進めました。

消費者庁の「ベスト消費者サポーター章」の受章、脱炭素や女性活躍推進の協力を目的に大野市との包括連携の締結など、地域と連携した取り組みを進めることができました。活動の分野では、福井県よりフードバンクモデル事業の受託、コロナ禍で苦しむ大学生への食品提供など地域支援の取り組みを進めました。組合員のみなさまのご支援、ご協力に感謝申し上げます次第です。

2022年度は、第10次中期計画2年目として、「人と社会への思いやり」をスローガンに、供給事業では宅配アプリ活用によるeフレンズの利用者拡大、フルセルフレジやスマホレジなど次世代レジの導入、ネットスーパーの仕組みの導入、福祉事業では丹南きらめきで新たにグループホームとサービス付き高齢者向け住宅の開設、共済のオンライン保障相談会、再エネ事業では小水力発電の稼働に向けての準備、自家消費型太陽光発電の設置を行っていきます。また、福井県行政書士会との連携協定の締結、ウクライナ緊急募金など、当生協の資源や経験を社会へのお役立ちのために活用していきます。また、新型コロナウイルスについては、長期的な感染防止対策に引き続き万全を尽くしていきます。

2022年度も「組合員の幸せと地域社会のために」役職員一同まい進する所存です。

目次

- 理念・ビジョン、県民せいきょう概要、2022年度 役員3
- 県民せいきょうの事業4
- 県民せいきょうのSDGs6
- 2021年度のできごと8
- 01 産直・地産地消 ～地域と進める商品作り～10
- 02 ふくいレインボーファーム ～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献～11
- 03 エシカル消費 ～誰かの笑顔につながるお買物～12
- 04 食の安全・安心の取り組み ～商品取り扱いの考え方～14
- 05 組合員の声 ～組合員の声を生かす～15
- 06 宅配事業 ～おいしさに安心をプラスした商品を毎週お届け～16
- 07 店舗事業 ～コープ商品や地産商品・産直商品を豊富に品揃え～17
- 08 介護事業・高齢者福祉 ～あなたらしさいつまでも～18
- 09 地域見守り・助け合い ～みんなが安心してくらせる地域づくり～19
- 10 くらしのサポート ～食とくらしのお困りごとを支援～20
- 11 組合員活動 ～もっとと広がり組合員の輪～22
- 12 災害支援 BCP対策 ～つながろう CO・OPアクション～23
- 13 地球温暖化対策・エネルギー対策 ～温室効果ガス削減計画～24
- 14 3Rの推進 ～循環型社会の構築に向けて～25
- 15 働きやすい職場環境づくり ～仕事と家庭を両立しながら、職員がイキイキと働ける職場に～26
- 16 人財育成 ～職員の「学びたい」に応え、褒め認め合う組織づくりへ～28
- 17 新型コロナ対応 働き方改革 ～新しい生活様式に対応した働き方～29
- 18 地域へのお役立ち ～地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援～30

理念・ビジョン

第10次中期計画（2021年～2025年）

理 念

組合員の幸せと地域社会のために

2022年度スローガン

人と社会に思いやりのある生協をめざします

使 命

食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ち

めざす理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、「安全・安心のふくい」づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける

大切にしたい組合員価値

「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

市町別組合員数と世帯加入率

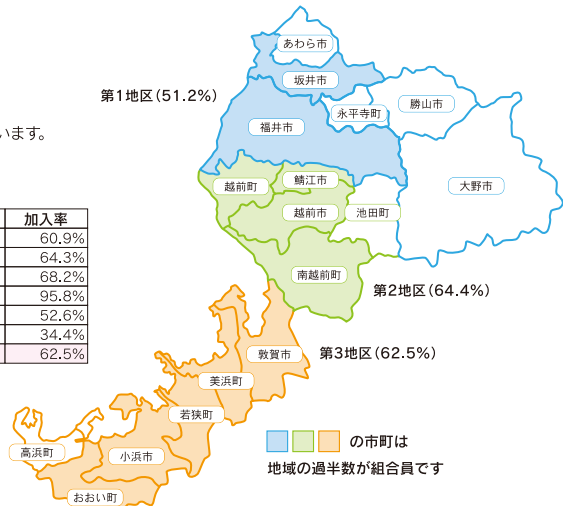
県内世帯加入率が56.5%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町・おおい町では、地域の過半数（2世帯に1世帯）の方が加入されています。

	組合員数	世帯数	加入率
福井県 全体	165,497人	292,676世帯	56.5%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	57,595人	104,951世帯	54.9%
あわら市	3,959人	9,912世帯	39.9%
坂井市	16,746人	31,258世帯	53.6%
大野市	3,774人	10,713世帯	35.2%
勝山市	2,594人	7,408世帯	35.0%
永平寺町	3,092人	7,322世帯	42.2%
第1地区計	87,760人	171,564世帯	51.2%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	16,933人	27,789世帯	60.9%
小浜市	7,738人	12,037世帯	64.3%
美浜町	2,527人	3,703世帯	68.2%
若狭町	4,573人	4,773世帯	95.8%
おおい町	1,662人	3,158世帯	52.6%
高浜町	1,526人	4,433世帯	34.4%
第3地区計	34,959人	55,893世帯	62.5%

※左記以外に県外在住の組合員が774人いらっしゃいます。
組合員数(人):2022年 3月31日現在
世帯数(世帯):2022年 4月1日現在



県民せいきょう概要

事業報告

■2021年度実績

	実 績	前 年 比
組合員数	165,497人	101.7%
出資金	99億134万円	102.1%
総事業高	262億9,907万円	99.7%
事業高	宅配事業	131億1,720万円 99.0%
	店舗事業	107億4,525万円 99.7%
	福祉事業	21億9,460万円 103.8%
	共済事業	2億4,200万円 101.1%
共済保有件数※	69,269件	100.6%
経常剰余金	4億7,746万円	92.3%

※1万円未満は切り捨てています。※宅配事業の中には、葬祭事業の事業高も含めています。※共済の保有件数は、たすけあい・あいびらす・ずっとあいの合計です。

■2022年度計画

	計 画	前 年 比
組合員数	167,300人	101.1%
出資金	100億8,000万円	101.8%
総事業高	263億5,900万円	100.2%
事業高	宅配事業	128億5,900万円 98.0%
	店舗事業	107億8,000万円 100.3%
	福祉事業	24億7,600万円 112.8%
	共済事業	2億4,400万円 100.8%
共済保有件数※	69,800件	100.8%
経常剰余金	3億5,300万円	73.9%

2022年度 役員

		氏 名	備 考			氏 名	備 考
常 勤	理 事	代表理事 理事長	松宮 幹雄	非 常 勤	理 事	五島 典子	第1地区／坂井エリア
			一般社団法人 ほのほのハーツ 代表理事 福井県生活協同組合連合会 会長理事 公益社団法人 ふくい・くらしの研究所 理事長 日本コープ共済生活協同組合連合会 理事			濱田 昭子	第1地区／坂井エリア
						朝日 亮子	第1地区／奥越エリア
						山田 久美	第1地区／福井エリア
非 常 勤	代 表 理 事	専務理事	中川 敦士		監 事	野路 直美	第1地区／福井エリア
		常務理事	広辻 光生			牧野 久美子	第1地区／福井エリア
		常勤理事	中川 政弘			加賀谷 幸恵	第2地区／丹南エリア
			野村 伸一			海岸 元子	第2地区／丹南エリア
	理 事		檜原 弘樹			笹原 麻子	第3地区／敦賀エリア
			今村 善孝			藤原 真理	第3地区／若狭エリア
			南保 勝			中山 哲弥	公認会計士、税理士
			小林 正能			寺西 道江	第1地区／坂井・奥越エリア
			山本 道隆			林田 喜久恵	第1地区／福井エリア
			岩佐 裕美			岩坂 知美	第2地区／丹南エリア
			小林 一			浜本 良美	第3地区／敦賀・若狭エリア
			酒井 智吉				
			松ヶ平 朝梨				
			青木 浩一				

※2022年3月31日現在

県民せい きょうの事業

コープの宅配

ご注文いただいた商品を週1回、決まった曜日に、ご自宅やご指定の場所にお届けします。安全・安心なコープ商品を中心とした生協こだわりの商品(食品・衣料・雑貨など)を豊富に品揃えし、福井県内全域の組合員にご利用いただいております。



Hearts

店舗 ハーツ

県内に11店舗ある「ハーツ」、健康長寿と家族団らんを応援するお店です。こだわりのコープ商品、地場や産直の生鮮品など安全・安心な品揃え。リサイクルステーションや、町内会の集まりなどにご利用いただける集客室など、地域に貢献できるお店をめざしています。



くらしのサポート

普段の買物や食事作りに困っている方のために県内14台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地での買物支援に、買物代行「ハーツのおつかいさん」では、ハーツの食品やお弁当をご自宅までお届けします。他にも買物バスや食事宅配など、毎日の食を支えます。



CO・OP共済

CO・OP共済は「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれた保障です。組合員1人ひとりの力が集まって大きなすけあいの輪が広がっています。お手頃な掛金で、医療保障や一生涯安心の終身共済などニーズに合わせてお選びいただけます。



移動店舗
ハーツ便

健康づくり

レインボー
ファーム

高齢者介護施設
きらめき

食事宅配

お買物
バス

宅配サービス
コープの宅配

買物代行
ハーツの
おつかいさん

子育て支援施設
ハーツ
きっず

生協のお店
ハーツ

CO・OP共済



高齢者福祉 きらめき

いつまでも自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしたい。そんな願いを応援する、せいきょうの高齢者介護サービス。県内に13カ所ある介護施設で、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅など、ご希望や状態に応じたサービスがご利用いただけます。



子育て支援 ハーツきっず

ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心」して、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。通院時などに便利な一時預かり、ママ・パパ同士の交流も楽しい子育てひろば、入園前の準備として2歳児のプレ保育がご利用いただけます。県内6カ所の施設に加え、ハーツきっず児童クラブを福井市内に3カ所開設しています。



組織概要

■事業概要 (2022年4月現在)

宅配事業(配送センター:4 福井センター、丹南センター、敦賀センター、若狭センター)
店舗事業(店舗:11 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ))
生活支援事業(移動店舗:14 第1地区本部6台、第2地区本部4台、第3地区本部4台)
高齢者介護事業(介護事業所:13 金津きらめき、坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、岡保きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき、鮎川きらめき)
子育て支援事業(子育て支援施設:9 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ)

共済事業

■職員数 (2021年度末)

1,620名
(正規職員344名、定時職員677名
N職員120名、アルバイト職員479名)

■グループ会社

エルシーコープ株式会社
株式会社コープサービス福井
ふくいレインボーファーム株式会社
株式会社ケア・サービス・アイ
コンビニハーツ株式会社

■関係団体

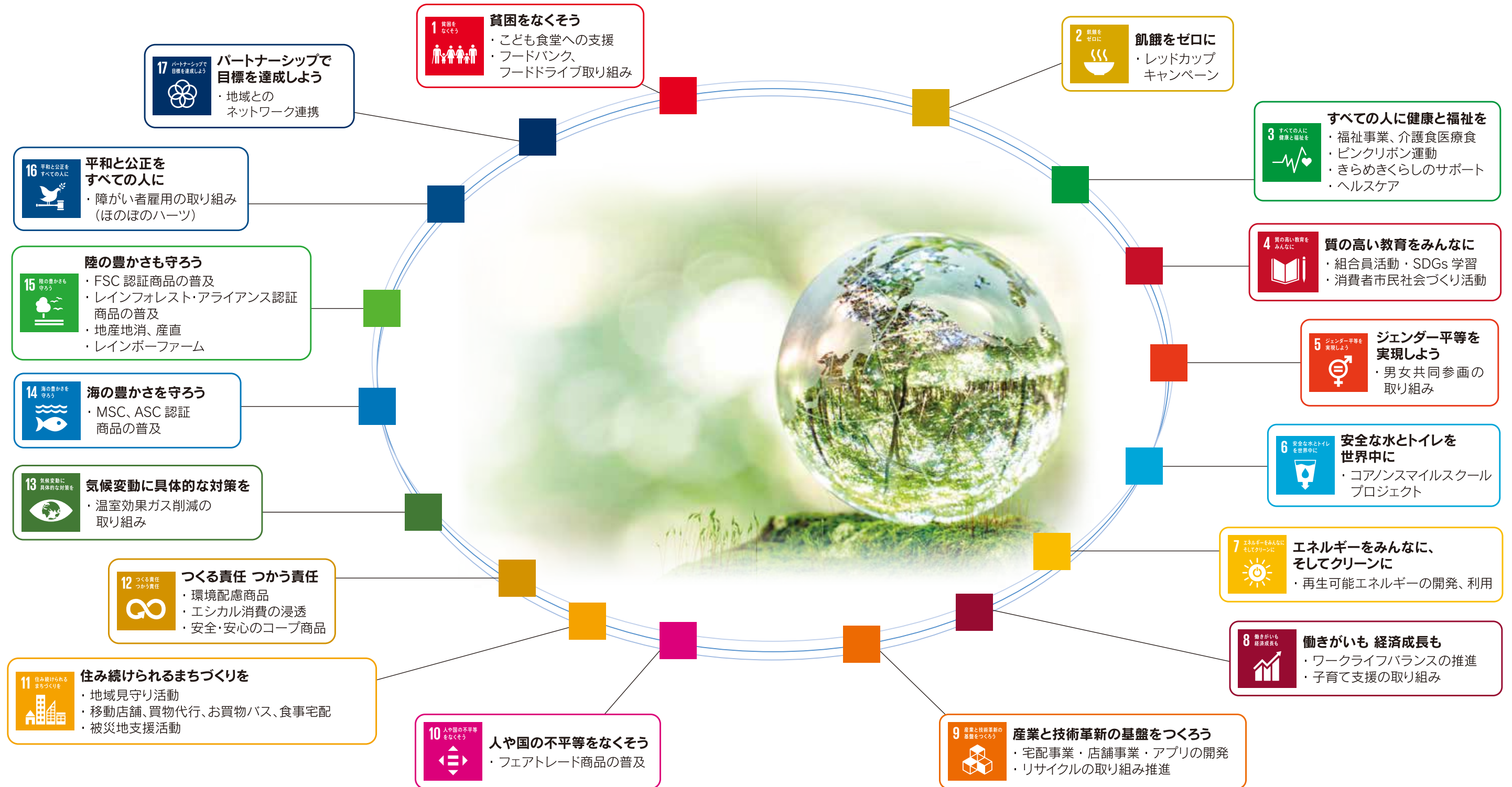
日本生活協同組合連合会
日本コープ共済生活協同組合連合会
コープ北陸事業連合
福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ
社会福祉法人きらめき福祉会(きらめきの里 鯖江)
公益社団法人ふくい・くらしの研究所
福井虹の会
福井県産直協議会

福井県民生活協同組合は

SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます



県民せいきょうは、「組合員の幸せと地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsのめざす姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことをめざしていきます。



福井県民生活協同組合は、SDGsの

福井県民生協では福井県のふくいSDGsパートナーで宣言を行い、連携協働

達成に貢献することを宣言します

の取り組みで持続可能な地域社会づくりに向けて事業や活動を展開しています。

〈県民せいきょうの宣言内容〉

地域課題に向き合い、事業と活動を通して、将来にわたり誰もが安心してくらするふくいづくりに寄与します

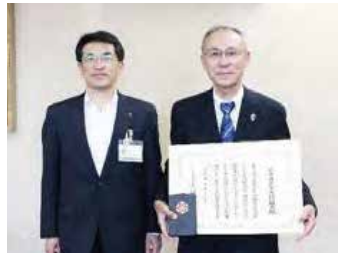
- 次世代を担う子どもたちの未来を応援します
- エシカル消費を推進します
- 地球温暖化防止と循環型社会の実現をめざします
- 地域で一番働きたいと思える職場をめざします



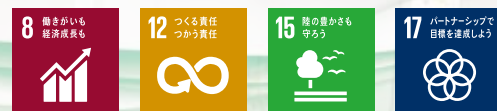
(達成に向けて取り組む主なゴール)



2021年度のできごと

県民せいきょうのできごと							
4月	創業50周年 県民せいきょう創業50周年、コープ北陸事業連合創立25周年、1号店となるハーツ羽水開店25周年を記念して、年間を通じて「ニコニコ感謝キャンペーン」として、コープ商品を感謝価格で提供しました。 越前市で地域包括支援センター開設 越前市から指定を受けて「地域包括支援センター丹南きらめき」の運営を開始しました。 						
5月	将来世代応援企業表彰 最優秀賞受賞 18県知事で行く日本創生のための将来世代応援知事同盟の「将来世代応援企業表彰」で最優秀賞に選ばれました。  将来世代応援企業表彰 ベスト消費者サポーター章 受章 レジ袋の有料化などで消費者利益の擁護及び増進のために貢献したとして、消費者庁から「ベスト消費者サポーター章」を受章しました。  ベスト消費者サポーター章受章						
	春の地区総代会議 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、昨年に引き続き書面開催となりました。						
6月	第43回通常総代会 コロナ禍により、開催時間・規模を縮小し、書面議決書による参加への協力をお願いしました。書面議決書の提出を含む総代495人による採決の結果、2021年度事業計画など6議案全てが賛成多数で可決承認されました。また、役員改選に伴い代表理事が交代しました。  第43回通常総代会						
7月	夏休み企画「ハーツおしごとキッズ」 小学生を対象にした職業体験「ハーツおしごとキッズ」をハーツ9店舗で開催しました。  ハーツおしごとキッズの様子						
8月	大野市と包括連携協定を締結 8月3日に大野市と包括連携協定を締結し、SDGsやエシカル消費の推進、脱炭素社会の実現、地域見守りや高齢者福祉など11項目で長期的に連携して進めることを確認しました。自治体との包括連携協定は、南越前町、鯖江市、越前市に続く4自治体目となりました。 【自治体との協定締結状況(2022年3月末時点)】 <table><tr><td>災害時の物資供給協力協定</td><td>17市町全て</td></tr><tr><td>地域見守り協定</td><td>17市町全て</td></tr><tr><td>地域包括連携協定</td><td>南越前町・鯖江市・越前市・大野市(締結順)</td></tr></table>  大野市との包括連携協定	災害時の物資供給協力協定	17市町全て	地域見守り協定	17市町全て	地域包括連携協定	南越前町・鯖江市・越前市・大野市(締結順)
災害時の物資供給協力協定	17市町全て						
地域見守り協定	17市町全て						
地域包括連携協定	南越前町・鯖江市・越前市・大野市(締結順)						
9月	行動指針5か条の策定 「県民生協職員行動指針」を具体的行動に繋げるため、行動指針5か条としてわかりやすくまとめ、朝礼等での唱和を通じて職員への理解浸透を図りました。						

	県民せいきょうのできごと	
10月	フードバンク ハーツとお取引先、県内小売流通業にもご協力いただき、フードバンクに取り組み、県市町社協、子ども食堂等34団体にお届けしました。	
11月	「新・ハーツのおつかいさん」サービス開始 11月より、買物代行サービスおつかいさんの配送をハーツ全店からとし、配送エリアを拡大しました。また、サービス利用料月額550円(税込)で、月に何回利用しても配送料無料、毎回合計金額から5%オフになるなどが特典の「プレミアム会員」を新設し、サービスを充実しました。  買物代行の商品準備 秋の地区総代会議 県内8会場で地区総代会議を開催しました。2021年度上期の振り返りと下期の方針説明、商品学習を行いました。また、分散会で意見交換を行いました。  福井エリア地区総代会議 「坂井食品衛生協会長賞」受賞 ハーツはるえが食品環境衛生の分野で業界の発展に尽力したとして、福井県坂井市健康福祉センターと坂井食品衛生協会、坂井環境衛生協会より坂井食品衛生協会長賞を受賞しました。	
12月	協同組合連携による県内学生への食品提供 県内の協同組合が連携し、県内産の米や缶詰など余った食品を、コロナ禍で困窮する大学生に提供しました。当生協でも、コープ共済連の「地域ささえあい助成金」を活用して、カップ麺やレトルト食品などを提供しました。  協同組合連携による県内学生への食品提供 「福井県しあわせ基金」に寄付 役職員に募金を呼びかけ、12万円を福井県しあわせ基金(福井県・福井新聞社・福井県社会福祉協議会・福井県共同募金会で構成)に進呈しました。	
1月	コロナ感染自宅療養者への食料支援 オミクロン株の流行による第6波で、県内でもコロナ感染者の自宅療養者が増加しました。当生協では福井県から委託を受けて、自宅療養者の自宅へ食料品等をお届けする支援を行いました。  コロナ自宅療養者へお届けした食料品等 COOP要冷物流センターを開所 1月14日に県民せいきょうグループの物流拠点として、福井市新保町に「COOP要冷物流センター」を開所しました。  COOP要冷物流センター開所式	
2月	COOP宅配福井センター移設 新要冷物流センターに隣接する施設に、宅配福井センターを移設し、2月21日から稼働しました。物流センターに、宅配センターの施設を併設することで、輸配送コストの削減など効率化を図ります。	
3月	COOP宅配アプリをリリース これまでの番号注文アプリを、メニュー注文や過去の購入履歴から利用提案するレコメンド機能などを追加した「COOP宅配アプリ」として、新たにリリースしました。 ウクライナへの支援募金 ウクライナへの人道支援を目的に組合員・職員へ募金を呼びかけ、日本赤十字社・日本ユニセフ協会を通じて難民支援に役立ててもらいました。 レジ袋収益金を寄付 レジ袋収益金のうち14万円を、地域のCO ₂ 削減や環境活動など地域の環境保全活動のために活用していたくことを目的に、3自治体3団体に寄付しました。  坂井市へレジ袋収益金を贈呈	

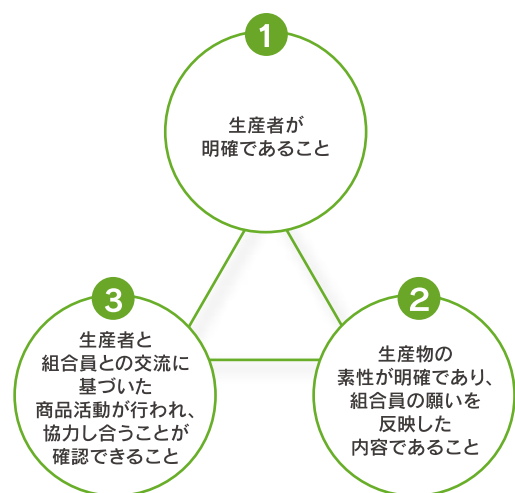


生協の産直は、食の安全を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



■ 産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数
(福井県:63)
(県外 :17)



	21年度	20年度	前年比
産直比率(宅配)	33.8%	29.8%	113.4%
産直比率(店舗)	30.7%	29.0%	105.9%
地産比率	16.1%	15.8%	101.9%



▲福井和郷のトマト

■ 産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2021年度はオンラインを活用したバーチャル産地見学会や、少人数での産地訪問・学習会などを開催し、産地の状況や生産者の想いを発信しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



▲ハーツ志比口産直市(第1地区)



▲山本農園 たけのこ白菜料理教室(第2地区)



▲渡辺農園梅もぎ体験(第3地区)



▲津軽産直組合 バーチャル産地見学会動画



「ふくいレインボーファーム」は、安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



農業体験や食育活動

新人職員や、職員研修、大学ゼミを通じた学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーファーム応援団を結成し、組合員のみなさんと共に農作業に取り組んでいます。

	21年度	20年度	前年比
レインボーファーム応援団登録人数	109人	115人	94.8%



農場の様子など
随時更新中!



■ 福井初 ギャップ グローバルGAP 個別認証を取得

適切で効率的な農場管理を実践するための手法で以下の4つを柱として管理点が定められています。

- 1 安全な農作物の生産と出荷
- 2 作業者の労働安全と福祉の確保
- 3 信頼できる販売管理
- 4 環境へ配慮した生産活動

グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する農業者に与えられる事業ブランドです。2017年11月に、福井県内の農業法人では初めて、キャベツ、みかん、米の3品目にてグローバルGAPの個別認証を取得しました。



現地審査の様子▶

【登録番号】
4059883205336
【認定登録日】
2017年11月20日
【有効期間】
2021年12月13日～2022年11月16日
【認証作物】
米・キャベツ・みかん

■ 食品加工センター

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う食品加工センターを、2018年4月より稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セット「ハパッとCOOK」、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。HACCPに沿った衛生管理を徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。





生協では、「地域」「環境」「社会」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買物」と表現して、積極的に応援しています。6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。



6月エシカル消費「環境」月間

森の恵みを未来に残す

FSC認証は、適切に管理された認証林やその他責任を持って調達された原材料で作られた製品に、FSC認証ラベルをつけて消費者に届ける仕組みです。



FSC 認証



森林の自然環境を守り働く人を応援する

レインフォレスト・アライアンス認証は、より持続可能な農業に取り組む認証農園産の原料やその製品であることを意味します。



レインフォレスト・アライアンス認証



海の恵みを未来に残す

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業で獲れた水産製品です。



MSC 認証



「持続可能なパーム油」をめざして

パーム油原料のアブラヤシ産地で生じている様々な問題の解決をめざすRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。適切に管理されたパーム油で作られた製品につけられます。



3-0098-17-100-00

RSPO認証



エシカル消費月間（環境月間）実績

単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	21年実績	20年実績	前年比	21年実績	20年実績	前年比	21年実績	20年実績	前年比
MSC 認証商品	1,683	835	201.6%	1,042	1,506	69.2%	2,725	2,341	116.4%
FSC 認証商品	17,213	10,816	159.1%	6,448	3,502	184.1%	23,661	14,318	165.3%
レインフォレスト・アライアンス認証	1,229	995	123.5%	1,055	1,155	91.3%	2,284	2,150	106.2%
その他環境配慮商品	13,385	13,329	100.4%	2,823	4,725	59.7%	16,208	18,054	89.8%
対象商品合計供給高	33,510	25,975	129.0%	11,369	10,888	104.4%	44,879	36,863	121.7%

ハーツの石油由来プラスチック削減の取り組み

2022年より「プラスチック資源循環促進法」が施行され、ハーツでも様々な「脱プラスチック」に向けての取り組みを推進しました。食品トレーを使わないノントレー商品の開発や、ストローの紙素材化やレジ袋やスプーンのバイオマスプラスチック化、弁当や丼の容器はバイオマスプラスチックやタルク素材という環境にやさしい素材を使っています。



▲ノントレー商品



▲バイオマスプラスチックの容器



▲紙ストロー、竹割ばしなど

10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動

認定NPO法人J. POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付しました。



協賛：コープ化粧品



2021年度(2021年9月1日～10月20日)
全国の生協の寄付金総額 1,020,908円

障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

対象商品を1点お買い上げいただくことに1円が、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。



2021年4月～2022年3月
全国の生協での寄付金総額 611,020円



CO・OP×レッドカップキャンペーン

対象商品1点お買い上げいただくごとに1円が、国連WFPを通じて支援先の子どもたちに学校給食を届けるために使われます。

2020年度からはミャンマー連邦共和国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及び自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



2021年度(2021年10月1日～11月10日)
全国の生協の寄付金総額 4,378,061円

コアノンスマイルスクールプロジェクト

CO・OPコアノンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。教師を育成したり、安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



2020年11月1日～2021年10月31日
全国キャンペーンで集まった寄付金総額 12,399,480円



商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB（プライベートブランド）商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB（ナショナルブランド）商品や市場手配の農産物についても仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。



■ コープ商品の意義・考え方

1. 安全であること
2. 安心できる品質であること
3. 適正価格であること
4. 生鮮商品は新鮮であること
5. 暮らしの見直しや暮らしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

■ コープ商品

co-op 日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

Hearts co-op 県民せいきようオリジナル商品

県民せいきようが開発しているハーツオリジナル商品。

co-op コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

Coop コープこうべ開発商品（コープス）

コープこうべが開発しているコープ商品。

■ 安全確認業務（商品検査）

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

■ 2021年度検査数

項目	21年度実績	20年度実績	前年比
商品検査数	8,491件	7,806件	108.7%
工場点検数	91件	84件	108.3%

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,357品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 134品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

■ HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法に取り組み、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2021年度は155,161件の声が集まりました。



チャネル別	21年度実績	20年度実績	前年比
コールセンター	129,730件	139,957件	92.7%
ひとことめも	10,630件	8,407件	126.4%
ハーツ私のこえ	1,027件	983件	104.5%
ハーツアプリ	161件	339件	47.5%
宅配アプリ	86件	—	—
共済アンケート	769件	941件	81.7%
介護利用者の声	1,287件	1,508件	85.3%
子育て利用者の声	1,243件	1,194件	104.1%
地区・事業委員会の声	2,000件	1,075件	186.0%
総代通信おたより	276件	215件	128.4%
機関紙おたより	128件	123件	104.1%
その他	7,824件	1,319件	593.2%
合計	155,161件	156,061件	99.4%

声の性質別	21年度実績	20年度実績	前年比
商品品質お申し出	3,230件	4,088件	79.0%
接遇他お申し出	5,514件	6,176件	89.3%
良い声	12,370件	9,840件	125.7%
企画・品揃え要望	1,179件	1,315件	89.7%
意見要望	4,469件	2,819件	158.5%
問い合わせ	87,525件	94,741件	92.4%
地域の声	203件	243件	83.5%
その他	40,671件	36,839件	110.4%
合計	155,161件	156,061件	99.4%

商品品質お申し出発生率	21年度実績	20年度実績	前年比
宅配全体	87ppm	86ppm	101.2%
宅配農産	512ppm	431ppm	118.8%
店舗全体	18ppm	16ppm	112.5%
店舗農産	77ppm	71ppm	108.5%
お申し出満足度調査（初期対応）	4.1点/5点	4.0点/5点	102.5%

※ppm…100万分の1

■ 総代会、地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、総代会と年2回の地区総代会議を開催し、事業や日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



2021年度よせられた組合員の声

- ・宅配…宅配事業への感謝（コロナ禍等）
eフレンズ・宅配アプリ（利便性向上、学習会）
- ・店舗…スローショッピングや食品ロスの取り組みへの評価
品揃え（新商品や宅配商品、ヘルスケア関連）
- ・暮らしのサポート…ハーツ便・お買物バス・買物代行の拡大
- ・高齢者介護…きらめきへの感謝、施設開所への期待
- ・子育て支援…0歳児預かりへの評価
- ・SDGs…食品ロス削減への取り組み評価、脱プラ等の環境問題
フードバンク・ドライブ、子ども食堂支援の評価
- ・組合員活動・広報…SNS取り組み推進、生産者との交流、オンライン講座への期待





コープの宅配

食料品や雑貨品、各種サービスや暮らしに役立つ情報を、毎週の配送を通して担当者がお届けします。2021年度はCOOP要冷物流センターの稼働、COOP宅配アプリのリリース、ドライブスルー型の宅配ステーションの設置など利便性の向上を行いました。

- 宅配事業高 13,117(百万円)
- 家計シェア 7.6%



COOP要冷物流センター・COOP宅配福井センター稼働



県民せいきようグループの物流拠点として「COOP要冷物流センター・COOP宅配福井センター」を開所しました。①コープの宅配の冷蔵、冷凍、農産品の仕分け②農産加工の設備③坂井・奥越・福井エリアのコープの宅配拠点の機能を持っています。



▲開所式



▲太陽光パネル



▲宅配トラック

COOP宅配アプリ誕生



eフレンズの「番号注文アプリ」が総合アプリに生まれ変わりました。スマホだけでいつでもどこでも気軽に注文することができます。レシピからの注文や配達完了のお知らせなど便利な機能充実。楽しく、かしこく、お得に買物を楽しめるようなアプリとなっています。

eフレンズ週平均利用者		
21年度	20年度	前年比
8,962人	6,631人	135.2%



宅配ステーションの拡充

福井エリアではハーツ羽水ドライブスルー型ステーションを、丹南エリアには沢町ステーションを、若狭エリアには高浜ステーションを開設しました。(沢町、高浜ステーションは無人対応のステーションです。)今後も組合員の利便性向上をめざして、様々な宅配スタイルにチャレンジします。



▲沢町ステーション



▲ハーツ羽水ドライブスルー型ステーション



▲高浜ステーション



Hearts(ハーツ)

Hearts(ハーツ)は、Health(健康)、Ecology&earth(環境と地球)、Amenity(快適)、Relief(安心)、Trust(信頼)、Symbiosis(共生)の意味が込められた生協のお店です。コロナ禍でも感染対策を行いながら、組合員に安心してお買い物いただけるお店を提供してきました。

- 店舗事業高 10,745(百万円)
- 家計シェア 8.0%



5つの基本業務

ハーツでは、来店されたすべての方に満足いただけるように5つの重要な基本業務を意識して取り組みを行っています。

- ・清潔な売場
- ・明るく元気な挨拶
- ・品切れのない売場
- ・鮮度と味の追求
- ・毎日の献立紹介

スローショッピング「ゆっくりレジ」導入

「自分のペースでゆっくりお会計を♪」

組合員が後ろを気にせず、自分のペースで財布の中の小銭を探したり、レジ職員が高齢化社会に対応できるような温かい対応ができるようにスローショッピングを導入しました。2021年から導入し、徐々に時間帯を拡大し現在は、毎日フルタイム稼働しております。



ハーツの惣菜がスマイルケア食に認定

ふくいレインボーファームで製造したハーツの惣菜「福井県産小松菜を使った煮浸し」「福井県産大豆の煮豆」が、農林水産省の「スマイルケア食」に認証されました。高齢の方だけでなくお子さまや小食の方にも食事の一品に加えていただくことで、効率よく栄養を摂取することができます。



ハーツアプリ

2020年12月に誕生したハーツアプリは、デジタルカードになり、チラシや予約注文の申し込み、お得なクーポンの配信など便利でお得なアプリです。2021年度はQR決済拡大と商品予約クレジット決済を導入し、より便利になりました。2022年3月までに3.8万人の方にダウンロードしていただきました。



てまえどりの取り組み

食品ロス削減を目的に、商品を購入してすぐに食べる場合には、商品を消費期限の短い手前にある商品から利用しようという「てまえどり」の運動をハーツで展開しました。てまえどりを実施することで、消費期限の迫った商品を廃棄することなく、食品廃棄物の削減にもつながるという取り組みで、組合員の協力も得ながら実施することができました。

	21年度	20年度	前年比
廃棄ロス金額(千円)	74,149	90,892	81.6%
廃棄ロス率	0.69%	0.84%	82.1%





3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう

「あなたらしさいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしくらし続けられるように、介護保険サービスやさまざまな啓発活動・まちづくり活動を行っています。



■ きらめきの各介護サービス（2022年4月現在）

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	7拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	3拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	13拠点
ホームヘルプサービス	7拠点	地域包括支援センター(越前市)	1拠点
小規模多機能型居宅介護	10拠点	介護タクシー	1拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護)	2拠点
認知症対応型グループホーム	4拠点		

■ 生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしいくらしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご利用者の気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートさせていただいています。

生協10の基本ケアとは

①換気をする

病気や心身機能低下にならない環境づくりをサポート

②床に足をつけて座る

足を使った起居動作を習慣として身体づくりをサポート

③トイレに座る

トイレで排泄を継続するのは尊厳の基本として排泄サポート

④あたたかい食事をする

調理や盛付けを行い親しい方と楽しい食事のサポート

⑤家庭浴に入る

生活リハビリの効果から家庭浴の湯船につかる習慣をサポート

⑥座って会話をする

座って時間を共に過ごし、ご本人のペースの安心感をサポート

⑦町内にお出かけをする

地域に出かけ社会性や精神的な豊かさを保つことをサポート

⑧夢中になれることをする

好きなことに夢中になれる機会や居場所づくりをサポート

⑨ケア会議をする

社会性ある豊かなくらしを、ご本人やご家族と話し合うサポート

⑩ターミナルケアをする

人生の最終段階までご本人らしく過ごすことをサポート

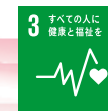
■ 丹南きらめき あったかホーム（BLG丹南）

認知症対応型デイサービスの名称を「あったかホーム（BLG丹南）」に変更し、介護を「する側」「される側」の関係をなくし社会参加や「ハタラク」活動を通じて本人のやりたいことを一緒に実現する社会参加型認知症デイサービスの提供をめざしています。

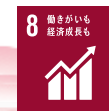


■ 社会福祉法人きらめき福祉会

鯖江市より社会福祉法人設立許可を受けて、2019年9月に「きらめき福祉会」を設立。2020年秋に特別養護老人ホームを備えた「きらめきの里 鯖江」を新設しました。



3 すべての人に健康と福祉を



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう

自治体との包括連携協定に取り組んでいます。地域の活性化や市民サービスの向上を図ることを目的に、2021年度末までに南越前町、鯖江市、越前市、大野市と包括連携協定を締結しました。



■ 地域見守り協定

宅配など業務を通じて地域の高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動に取り組んでいます。福井県内全市町と協定を締結しました。

■ 子育て支援

子育て支援 ハーツきつず

ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心」して子育てできる環境づくりに取り組み、子育てひろば、一時預かり、2歳児を対象としたプレ保育、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）を行っています。また、最近では乳幼児対象の「なまかほいく」や0歳児対象の「BPプログラム」に取り組み支援の幅を広げています。

●ハーツきつず 6施設

●ハーツきつず 児童クラブ 3施設

ハーツきつず



コープの宅配 すくすく便

小学校就学前のお子さまがいいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、ふく育プレミアムパスポートをお持ちの組合員は通常165円(税込)の個配手数料が55円(税込)になります。

●登録人数 11,270人

ハーツ・ふく育応援企画

18歳未満のお子さまがいいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント3倍(5倍)になります。(ハーツアプリ登録・福井県のふく育パスポート取得が必要) ※パスポートの種類により、倍率が異なります。

●ハーツ・ふく育応援登録人数 10,024人

■ はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、ふるさと福井をイメージしたプレゼントをお届けする「FUKUI HAPPY BABIES ～はじめてばこ～」の取り組みを2019年1月から行っています。

福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしています。

●2021年1月～2021年12月までの
お届け数 2,713件



■ CO・OP共済

「たすけあい」「あいづらす」「ずっとあい」

相互の助け合い、くらしの中の危険による損失を保障することを中心に、くらしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄り、落ち着いて相談できるカウンターとなっています。

■ 共済実績

項目	21年度実績	20年度実績	前年比
共済保有件数	69,269件	68,853件	100.6%
共済加入率	21.4%	21.7%	98.6%

手術・入院
ケガ通院

我が家も
サポート

一生涯
保障

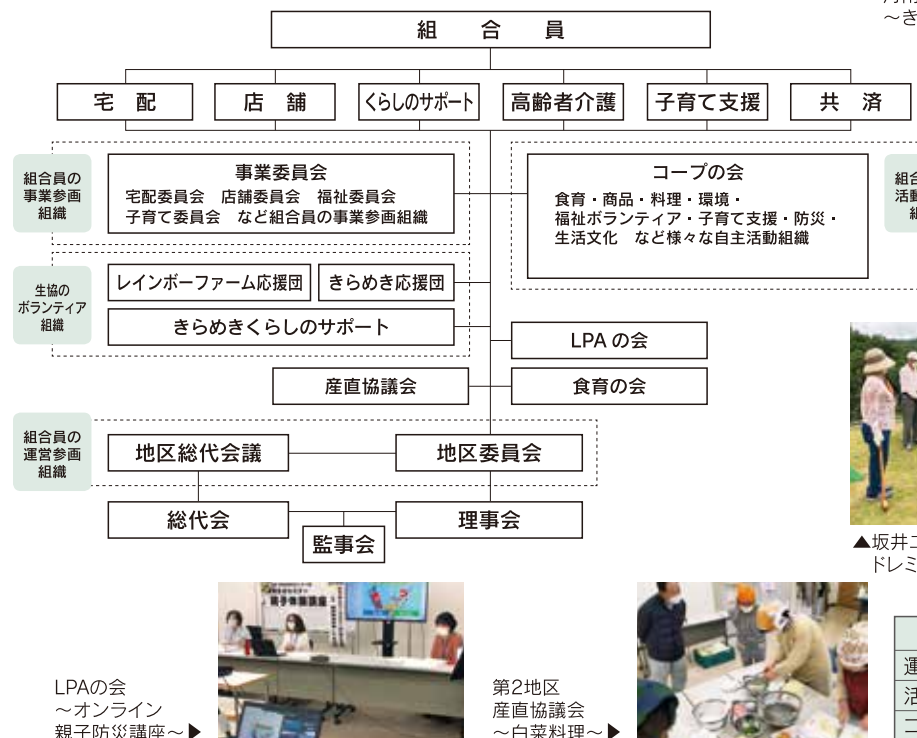




組合員同士が集まって取り組む商品学習や、食・環境・福祉などさまざまなテーマで行う活動を応援しています。地域やテーマに応じて地域のNPOや団体とも連携し、様々な活動が取り組まれています。

- ①一人では実現できない願いをみんなの活動で実現する活動(自主自発の活動)
- ②生協ファンを増やし生協の商品やサービスの良さを広げていく活動(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域のみならずと一緒に関わっていく活動(地域を支える活動)

組合員活動組織



丹南福祉委員会
～きらめきサロン～▶



▲わかさ店舗委員会
～迎春商品おすすめ活動模造紙作り～



▲坂井エリア コープの会
ドレミの会～グランドゴルフ～



▲敦賀エリア コープの会
マミーサポート
～カップ寿司を作る～

項目	21年度	20年度	前年比
運営参加人数(委員数)	223人	227人	98.2%
活動参加人数	6,188人	5,960人	103.8%
コープの会数	32	32	100.0%

市民活動助成金制度

県民せいきょうでは、食や環境・福祉・子育てなど、県内の公益的・社会活動に取り組む市民団体やグループと連携して、より良い地域社会づくりに取り組んでいます。2006年から16年間で、のべ201団体に助成を行ってきました。2022年度は、社会貢献基金運営委員会による審議、理事会承認を経て、18団体に対して、総額99万円の助成を行いました。

活動エリア	団体名	活動エリア	団体名	活動エリア	団体名	活動エリア	団体名
県内全域	コスモス成年後見サポートセンター福井県支部	奥越	四葉のクローバー会	福井	湊伸生会	丹南	夢みらいWe(夢みらい・鹿さばえ指定管理者)
坂井・福井	「友サークル」	奥越	ほほえみグループ	福井	福井県オカリナ協会	敦賀	クレヤルカエルde集まれ～!!実行委員会
坂井	子ども食堂 スマイル	福井	特定非営利活動法人かさじぞう	福井	学生団体Together	敦賀	特定非営利活動法人 中池見ねっと
坂井	テンプル食堂よしざき	福井	点訳サークル 松岡サンライト	福井	幸(さきわい)太鼓		
坂井	たたら製鉄遺跡保存会	福井	だれでも食堂「夕焼けこやけ」	丹南	越前にこにこ食堂		



多発する水害や雪害、地震など自然災害、新型コロナウイルス感染等に対して、リスクマネジメント・マニュアルやBCP(事業継続計画)マニュアルを策定しています。また県内全17市町と災害時物資協力協定を締結し、大震災や豪雨による災害が発生した場合、協定に基づき物資支援に迅速に取り組みます。

東日本大震災支援活動の継続

被災地を支える

①12月福島の子どものための保養活動を行う、福井市自然体験交流推進協議会に食材支援を継続しました。

②福島ひまわり里親プロジェクトに大野きらめきが参加しました。東日本大震災後、福島県の障がい者福祉施設で仕事ができなくなり、困っているのをなんとか助けたいと始まったプロジェクトです。大野きらめきでは、地域にも協力を呼びかけ、18名の方々が里親としてひまわりを育ててくださいました。



◀ひまわり里親プロジェクトの大野きらめき

BCP対策

大雪への備え 除雪車導入

平成30年豪雪と令和3年の豪雪を受けて、大雪への備えを強化しました。大型のホイールローダ(除雪車両)を、各地区本部に2台ずつ配備しました。これまで大雪時には、業者に委託して駐車場を除雪していましたが、自前で除雪ができるようになり、雪の日の組合員の駐車場の利用のしやすさや、配送拠点での対応力強化につながりました。



◀ホイールローダ(除雪車両)

被災地を忘れない・ボランティア活動を支える

岩手県陸前高田市の桜ライン311(植樹ボランティア活動)に対して、桜の苗木(5本)を寄付しました。



※現地の植樹の写真は
2019年度の様子です。

ウクライナ緊急募金の取り組み

2022年2月末ロシアによるウクライナ侵攻をうけ、ウクライナの子供たちや難民のみなさんへの人道支援が必要と考え、ハーツと宅配で組合員の募金を呼びかけさせていただきました。組合員から寄せられた321万円を、日本ユニセフ協会に義援金としてお送りしました。

同時に役職員で取り組んだ募金50万円と、県民生協からの拠出金50万円、合計100万円を中川専務理事より日本赤十字社福井県支部に義援金として贈呈しました。



▲日本赤十字社福井県支部への贈呈



▲店頭のウクライナ緊急基金

※新型コロナウイルス対策についてはP29に掲載

環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会のみなさんと共に、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かなくらしと地球環境保全の実現をめざします。



■ 温室効果ガス削減計画

2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目標に温室効果ガス削減計画を設定して取り組みを進めています。施設の省エネは、新規出店、改装時を中心に、またフロン対策に合わせて機器の入替えや導入を行っています。また、省エネだけでなく、再生可能エネルギーの開発研究などを進め、エネルギー削減に向けての取り組みを進めています。

	実績		成り行き予測	対策効果			計画
CO ₂ 排出量	13年度	21年度	30年度	省エネ	創エネ	再エネ活用	30年度
店舗CO ₂ 排出量	6,697t	6,232t	6,745t				
宅配CO ₂ 排出量	1,169t	1,168t	763t				
物流CO ₂ 排出量	266t	545t	2,199t				
本部CO ₂ 排出量	191t	200t	179t				
福祉CO ₂ 排出量	1,168t	1,332t	1,414t				
合計CO ₂ 排出量 (2013年度比)	9,491t	9,477t	11,300t	▲246t	▲3,878t	▲2,431t	4,745t
	-	99.9%	119.1%				50.0%

■ 太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度 (FIT: Feed-in-Tariff) を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。2021年度には要冷物流センターに自家消費型の太陽光発電設備 (750kW) を導入し、発電規模は16ヶ所で3,024.5kWとなりました。



生協グループの発電設備 (16ヶ所 3,024.5kW)			※2022年4月現在
・丸岡物流センター(坂井市)	450kW	・ハーツ志比口(福井市)	49.5kW
・本部センター(福井市)	30kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	49.5kW
・福井センター(福井市)	250kW	・ハーツたけふ(越前市)	49.5kW
・丹南センター(鯖江市)	49.5kW	・ハーツつるが(敦賀市)	49.5kW
・敦賀センター(敦賀市)	49.5kW	・ハーツわかさ(小浜市)	49.5kW
・ハーツはるえ(坂井市)	49.5kW	・第2生鮮加工センター(福井市)	49.5kW
・ハーツ羽水(福井市)	49.5kW	・要冷物流センター(福井市)	750kW
・ハーツ学園(福井市)	49.5kW	・その他(福井市)	1,000kW

※要冷物流センターは自家消費型、その他はFIT。

■ ハーツの省エネ対策

ハーツではデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更や照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース
(扉付きで、冷氣漏れをふせぐ)



セラミックタイル
光の反射により店内を明るく見せることができます。



デュアルインショーケース



ベース照明LED
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。

デマンドシステム
(三方五湖を除く9店)
デマンドによる電気使用の「見える化」。職員意識を高めています。



BEMS(ハーツはるえ)
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムです。



3Rの推進のために、買物袋持参運動だけでなく、容器包装のリサイクルや食品リサイクルの取り組みを積極的に進めています。集めた資源は、エコセンターで一次加工を行い、循環型社会の構築に向けての取り組みを展開しています。

■ エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

県民せいきょうで回収している資源とリサイクル品

ダンボール	紙製品
新聞紙・新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
牛乳パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック(A-PET)	プラスチック製品
食品トレイ	原料
エコキャップ	原料
小型家電	原料
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

■ エコセンター回収実績

	21年度	20年度	前年比
注文書	2,031t	1,684t	120.6%
ダンボール	831t	734t	113.2%
新聞紙	133t	112t	118.8%
プラスチック類	140t	105t	133.3%
合計	3,135t	2,635t	119.0%

■ 容器包装リサイクル

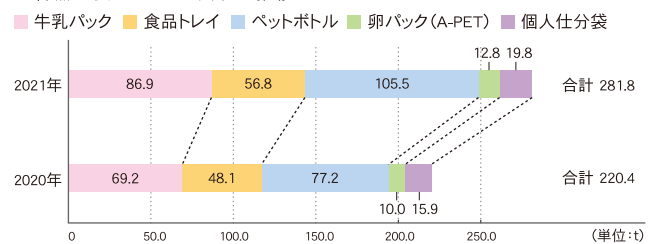
(ハーツ店頭回収・コープの宅配配送時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさんの容器包装を回収しています。

リサイクルBOX▶



■ 容器包装リサイクル回収量推移



■ 買物袋持参運動(リデュース)

2007年10月にハーツつるがで、福井県内の食品スーパーとして初めてレジ袋の有料化を実施し、2020年4月からはハーツわかさでも有料化を行い、全店に展開しました。レジ袋の販売によって得た収益は、地域の環境団体への寄付と環境分野の組合員活動に活用しました。

■ 持参率年次推移

	21年度	20年度	前年比
はるえ	92.7%	93.3%	99.4%
羽水	93.7%	94.2%	99.5%
学園	89.8%	90.7%	99.0%
志比口	91.7%	92.6%	99.0%
さばえ	92.5%	93.2%	99.2%
神中	88.8%	88.9%	99.9%
たけふ	93.2%	93.7%	99.5%
つるが	91.1%	92.2%	98.8%
三方五湖	90.6%	91.7%	98.8%
わかさ	86.8%	88.1%	98.5%
全店平均	91.1%	91.9%	99.1%

2021年度寄付先

- 坂井市 ●福井市くらしと環境をよくする会
- エコネットさばえ ●越前市 ●敦賀市
- アノミアーナ



■ 食品リサイクルの取り組み



■ 堆肥化率

	21年度	20年度	前年比
はるえ	60.5%	66.0%	91.7%
羽水	75.3%	85.0%	88.6%
学園	72.2%	88.0%	82.0%
志比口	79.1%	96.1%	82.3%
さばえ	93.3%	80.4%	116.0%
神中	70.0%	72.0%	97.2%
つるが	70.6%	75.1%	94.0%
全店平均	74.4%	80.4%	92.5%

※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていない。

■ リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑誌)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。

■ リサイクルステーション回収実績

	21年度	20年度	前年比
古紙	1,388t	1,291t	107.5%
廃食油	11t	12t	91.7%



15 働きやすい職場環境づくり

仕事と家庭を両立しながら、職員がイキイキと働ける職場に



次世代育成支援対策推進法に則り、次世代育成支援や職員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりをめざしていきます。

働きやすい職場環境づくり

- 仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度として、ベビー休暇制度（男性の育児休暇）や、1日2時間短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、子育て支援制度（企業内託児）によって、育児と仕事の両立を支援しています。
- 多様な働き方に対応できる雇用フレーム（勤務エリアや職務範囲の制限）やキャリア形成支援、心と体の健康維持、増進活動などの支援を行っています。
- 共済会り〜ふでは、職員の交流企画や各種助成制度、団体旅行などを行っています。

2021年度育児休業取得率	
男性	60.0%
女性	100.0%



イクボス宣言

職員のワークライフバランス実現に向けた具体的な取り組みを進めていくために、2019年3月に「イクボス宣言」を行いました。

イクボス宣言内容

- ①職員の働き方改革・生産性改革に仕組み、時間外労働の削減と有給休暇取得を推進
- ②「傾聴」「感謝」「褒める」「祝う」を通してチャレンジし続ける職場風土の構築
- ③挨拶・声かけを率先し、風通しの良い職場環境づくりと多様な働き方を認め合う職場づくり

ワーク・ライフ・バランス

仕事と家庭の両立や働きやすさ、仕事のやりがいなどを醸成する政策を計画化し、働きやすい環境整備として、所定外労働時間の削減・有給休暇取得推進などに取り組みました。2020年には「鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞」を受賞しました。

「鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞」受賞▶



将来世代応援企業表彰

「最優秀将来世代応援企業賞」受賞

2021年4月13日（火）広島県において「日本創生のための将来世代応援知事同盟サミット」が開催されました。各県推薦された企業の中から、子育て支援並びに女性や若者への支援、働き方改革において、独自性・先進性のある取り組みを積極的に行っている企業として「最優秀将来世代応援企業」に表彰されました。

「最優秀将来世代応援企業賞」受賞▶



全国初 Wプラチナ認定 「プラチナくるみん」「プラチナえるぼし」認定企業になりました

2017年に次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」としてより高い水準の取り組みを行ったことが認められ「プラチナくるみん」に認定されました。さらに2020年には女性活躍推進法に基づき、取り組み状況が特に優良であるなど一定の要件を満たしたため、「プラチナえるぼし」に認定されました。両方の「プラチナ」認定を受けた企業としては全国初となります。

引き続きすべての職員が仕事と生活を両立しながらイキイキと働き続けることができるような、働きやすい職場環境の整備を進めていきます。

	21年度	20年度	前年比
女性管理職比率	26.5%	21.1%	125.6%
女性管理・監督職比率	52.9%	48.6%	108.8%



健康経営優良法人（大規模法人部門）認定取得

地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに優良な健康経営を実践している法人として健康経営優良法人の認定を取得しました。



職員意識調査

毎年1回、組織に対する思いや各施策に対する理解度や意見・要望を把握するために全職員に対し、「職員意識調査」を実施しています。その中で理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけています。職員意識調査の結果や職員の声を分析し、翌年度の施策に反映することで、組合員・利用者にとりかかりと向き合うことができる職員育成と、それを支える土壌づくり（組織風土）に取り組んでいます。

●コアパーソン比率 87.4%

有給取得率

有給休暇については、全職員個別に年間7日間の取得計画を年度初めに立て、計画的に取得しています。

2021年度の有給取得率は、全体で75.3%（一人あたり平均取得日数は12.6日）、R・L（正規）職員では65.7%（一人あたり平均取得日数11.9日）となっています。2021年度は対象職員全員が法定基準5日を上回る7日以上の有給休暇を取得しました。

2021年度実績

雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	65.7%	11.9日
P・E職員【非正規職員】	81.1%	13.0日
全体	75.3%	12.6日

共済会り〜ふ

共済会「り〜ふ」は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、職員の慶弔に対する慶弔金、資格取得や通信教育受講費の補助を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流会援助などを行っています。

離職率

職員の離職防止対策として、職場の上司や先輩職員がトレーナーとなり教育を進めるOJT活動を用いて、必要な知識や能力・技術を教育するとともに、面談を通して仕事に対する不安や悩みの解消を行っています。また、各職場に所属長以外の相談窓口として、一般職の中から「労務相談員」を選出し、相談がしやすい環境整備を行っています。

2021年度実績

雇用区分	離職率
R・L職員【正規職員】	9.95%
P職員【非正規職員】	12.18%
全体	11.36%

■離職率

$$\frac{\text{離職者数} - \text{一定年退職者数}}{\text{年度末人数} + \text{離職者数}} \times 100$$

安全運転の取り組み

社会的責任のひとつとして、車輛事故・違反をリスクマネジメントに設定し、組合員や地域の模範となるような運転をめざしています。2021年度からは、地域のこども園などからの依頼を受けて、「CO・OP子ども安全運転スクール」を5施設、189名を対象に開催。未就学児を対象に、横断歩道の渡り方や死角についてなど、体験型の学びの場を提供しました。





組合員の笑顔やありがとうの言葉に喜びを感じ
る中で、考え、学び、行動できる人財を育てていく
ために、学び育む教育制度や、傾聴、感謝、褒める、
祝うといった組織風土づくりを積極的に進めてい
ます。

■ 学び育む教育制度

入協後にはOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基
本に、職員一人ひとりに応じた教育を行っています。さらに、職員の
「学びたい」ニーズに応えるために通信教育や資格取得、研修受講に
対する助成金制度を設けています。また、職員の自主参加型講座の開
催などを通して自己啓発をサポートしています。

■ 創発と共創を促す組織風土

- 褒め認め合う組織づくり
・マイスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
- 役員懇談会の実施
- 職員ニーズの把握
・自己申告書・職員意識調査

■ 経営品質活動の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の向上につなげる提案制度で、年間約
3,000件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア
月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好事例
を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム
単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。

21年度仕事品質向上活動表彰チーム 《全11チーム》宅配1 / 店舗2 / 高齢者介護3 / 子育て2 / 地区本部1 / 本部2

□**宅配**: 福井センター 上田・山本チーム
代走トラブルを削減し、組合員に迷惑をかけない
配送をしよう

□**店舗**: ハーツ志比口 ベジタブル'sチーム
組合員ニーズに沿った商品を展開し、作業標準化
により生産性向上につなげる

□**店舗**: ハーツたけふ たけふ日グロチーム
売り場で『テーマ』を表現し、おすすめしたい!

□**高齢者介護**: 勝山きらめき 巨峰チーム
ヘルパーの関わりとタンパク食品で低栄養の改
善をめざす!!

□**高齢者介護**: 坂井きらめき ぶちぶりウーマンチーム
父ちゃん、みてての!!

□**高齢者介護**: 江守きらめき ONE TEAM+
愛をこめて活動を

□**子育て**: ハーツきつず志比口 しひぐっちチーム
親子子育て

□**子育て**: 児童クラブ きつず児童クラブチーム
子ども達の自主的な活動を支えるジュニアリーダーを
育成する

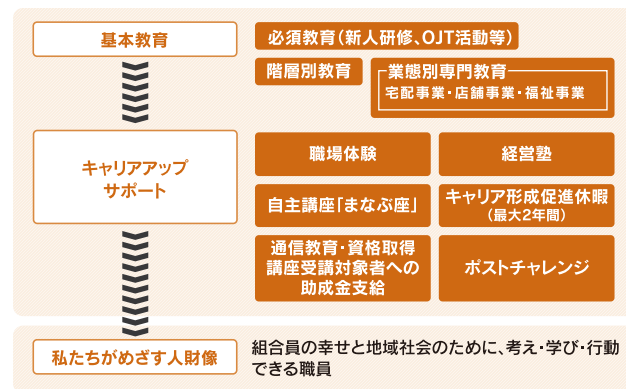
□**地区本部**: 第2地区本部 チームdai2
コロナ禍でもできる組合員活動を行い、活動委員さん
のやる気UPをめざす!

□**本部**: コールセンター 伊井チーム
『件名・宛先』を整理・簡素化しOP負担軽減につなげる!

□**本部**: 渉外広報部・組合員活動関係団体 @fukuicoopチーム
生協のSNSを広げよう

	21年度	20年度	前年比
業務改善好事例表彰数	11件	15件	73.3%
業務改善参画度	84.5%	90.2%	93.7%
アイデア提案件数	3,466件	3,306件	104.8%
仕事品質向上活動 取り組みチーム数	133件	134件	99.2%

学 び 育 む 教 育 制 度



新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅勤務
やオンライン会議など、これまでの働き方の見直し
に迫られるようになりました。新型コロナ対応で
は、事務所での対策のほか、地域と連携した取り
組みも進めました。

■ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスへの対応として、マスクの着用、アルコール消毒の実施、手袋の着用、宅配では
配送時の「置き配」の対応や、店舗では、レジ待ちでの足跡設置による社会的距離の確保、飛沫防止と
して全レジとサービスコーナーに対面遮断ビニールの設置、福祉ではグループホームでのテレビ電話
面会など、組合員と職員の安全確保を目的に、様々な取り組みを行いました。クライシスマネジメント
にもとづき、一部事業の停止や縮小、組合員活動の中止や少人数での開催、オンラインでの活動など
を行いました。



自宅療養者支援(食料品提供)

2021年度下期以降のコロナウイルス感染症(オミクロン株)では、
無症状や軽症などの方が多く、入院ではなく、自宅での療養となる方
が増えました。自宅療養者は、買物にも行けないため、生協が福井県
から委託を受けて、自宅療養者向けに1週間分の食料をお届けして
いきました。

●2021年度

自宅療養者への食料品
お届け数

約6,000件

※2022年度も継続



協同組合連携による県内学生への食料支援

JA福井県や漁業協同組合と連携して県産の米や缶詰などをコロナ
禍で困窮している県内の大学生に提供しました。



■ インターネットを活用したオンライン会議の促進

密を避けるために、集合体の会議を見直し、会場を分割してのオンライン会議を実施しました。理事会や地域理事協議会といった機関会議のほか、
業革会議、店長会議など、事務局会議もオンライン会議を進めました。移動の時間削減にもつながり、一定の効果を示しました。

■ テレワーク(在宅勤務)の実施

事務所内での感染リスクを減らすために、出勤する職員の数を減らし、在宅での勤務を推進しました。在宅での勤務を進めるために、リモート
ワークが可能なパソコンを設定し、自宅で職場と同じ環境で業務ができるようになりました。また、在宅での勤怠管理の仕組みを導入し、職員
が安心して働ける環境をつくりました。

■ DXの推進

DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することで、誰もが働きやすい職場環境整備と生産性改革に取り組みました。

18 地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援



県民せいきょうでは地域、組合員の社会的課題に対して、事業や活動を通じて、自治体や地域団体と連携して、地域に役立ち、感謝される組織をめざします。

項目	21年度	20年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	305件	294件	103.7%

生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ食料支援・子ども食堂への食材支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センターを通じて生活困窮者や子ども食堂に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂（現在7団体）に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。

フードドライブは、2019年からハーツ10店舗と介護施設きらめき2ヶ所において家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、福井市・鯖江市・越前市・大野市・勝山市など自治体と共同の取り組みに広がっています。

2021年度実績

項目	回数	数量	金額換算
フードバンク活動	4回	20,542点	1,039,771円
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	71回	6,618点	2,612,003円
フードドライブ活動	16回	12,054点	—

※上記の他、ハーツや産直生産者から直接子ども食堂に食材提供している事例もあります。



▲21年12月木田小学校からの寄付（ハーツ羽水）



▲21年6月大野市と共同でフードドライブに取り組み、贈呈式を行いました。

ふくいSDGsパートナー・職場体験・視察・講師派遣など

2020年にふくいSDGsパートナーに登録し、地域とともにSDGsの推進を進めています。

2021年度はふくい未来人材育成プロジェクトに参加しました。ハーツやきらめき、ハーツきつずなどでの職場体験や視察の受け入れ、SDGsに関する講師派遣など地域や全国からの要請を受けてお役立ちに取り組んでいます。

	21年度		20年度	
	回数	人数	回数	人数
生協	9回	178人	12回	216人
学校	29回	485人	8回	80人
行政	10回	1,203人	19回	577人
団体・企業	24回	494人	8回	164人
その他	3回	45人	6回	87人
合計	75回	2,405人	53回	1,124人

※2021年度はコロナ禍によりオンラインによる受け入れが増加しました。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協定	市 町	あわ	坂	勝	大	福	永	鯖	越	越	池	南	敦	小	美	若	お	高	締	福
		わ	井	山	野	井	平	江	前	前	田	越	賀	浜	浜	狭	おい	浜	結	井
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野 きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江 きらめき	丹南 きらめき	—	—	—	敦賀 きらめき	—	—	—	—	—	5自治体 7事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括協定	協定の有無				○			○	○			○							3市1町	
レジ袋削減協定	協定の有無		○			○		○	○				○	○					6市	○

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機 関 名	役 職 名		機 関 名	役 職 名
経営	福井経済同友会	幹事	食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井商工会議所	議員		厳選・ふくいの味認証委員会	委員
	一般社団法人福井県経営品質協議会	副会長・運営委員		福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員
福祉介護	福井県社会福祉協議会	評議員		鯖江市食育基本計画策定委員会	委員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	副会長・事務局長		元気さばえ食育推進会議	委員
	大野市結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員		福井市水産加工審開発等検討会	委員
	大野市大野地区第二層協議体	委員		有機農産物安定供給体制構築事業協議会(小浜市農林水産課)	委員
	大野市徘徊高齢者SOSネットワーク事業	委員(奥越ケアマネジャー連絡会代表)	環境	環境ふくい推進協議会	企画委員長・育成支援部会長
	勝山市地域包括ケア推進協議会	代表		福井市環境推進会議	委員
	奥越地区障害者自立支援協議会	委員(奥越ケアマネジャー連絡会代表)		福井市くらしと環境をよくする会	企画委員・監事
	勝山市地域密着型サービス事業所連絡会	会長		福井市廃棄物減量推進会議	委員
	福井県認知症キャラバン・メイト協議会	委員		鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員		鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス協議体	委員	つるが環境みらいネットワーク	委員	
	越前町生活支援事業協議体会議	委員	ボランティア	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	越前市老人ホーム入所判定委員会	委員		福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員		福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員	労働	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員		福井県労働者福祉協議会	幹事
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員		公益財団法人福井県労働者福祉基金協会	理事・評議員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員		一般財団法人福井県労働者信用基金協会	評議員
	敦賀市介護認定審査会	委員		福井県労働福祉会館	理事
	敦賀市認知症支援推進協議会	委員	男女共同参画	坂井市男女共同参画審議会	委員
	大関まちづくり協議会	いきいきフレンドリー部会委員		福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事		鯖江市男女共同参画審議会	委員
	全国地域包括ケアシステム連絡会	理事		さばえ男女共同参画ネットワーク	理事
	一般社団法人福井県介護福祉士会	理事		つるが男女共同参画ネットワーク	理事
あわらし安心生活ネットワーク連絡会	委員	敦賀市男女共同参画策定委員会		委員	
あわらし社会福祉協議会	評議員	小浜男女共同参画ネットワーク	理事		
あわらし認知症地域支援推進員	推進員	その他	福井市子ども・子育て審議会	委員	
ケアマネSAKAI	運営委員・庶務		坂井市子ども・子育て連絡会議委員会	委員	
敦賀市介護保険事業計画策定委員	策定委員		青少年健全育成敦賀市民会議	委員	
公益社団法人認知症の人と家族の会	理事		福井県協同組合連絡会	構成員	